

訓練コース募集要項

—2026 年度版—

1. はじめに

この訓練コースはサポチルが開設した精神分析的心理療法のための研修プログラムの自主性・自発性という理念は維持しながらも、確かな専門性を実感するために体系的な訓練内容を整備したものです。公認心理師という新たな潮流の中で、私たちは自身の専門性に対するアイデンティティが揺らぐ危機に直面しているといえます。

訓練コースはこれまで以上のサポートを整え、知識や技量の着実な定着と高い専門性に対する自負が得られていくように集中的な訓練を提供するものです。精神分析的心理療法の実践のみを目指すのではなく、各々の現場に即した実践を考えて行える自立した専門家を目指すものとなっています。

現在は、観察と臨床基礎コースに17名、セラピスト養成コースに5名の方が集中的な訓練を受けています。この度、2026年4月から訓練が開始される訓練生の募集を行います。以下にコースの紹介をしておりますので、ぜひご検討ください。

2. コースの特色

1. より凝集性の強い研修内容

(定められた期間で知識や経験の確実な定着を目指す)

2. コース委員・セミナーリーダーによる手厚いサポート

(来るもの拒まず、去る者追わずではなく、責任をもってサポートする)

3. ピアグループを通じた相互サポートの強化

(同期とも同僚とも違う、同志による支え合いの場の提供)

4. ゼミ形式の基礎セミナー

(講師のペースではなく、受講生の理解度に合わせて必要な内容を学ぶ)

5. 年に3回の個別チュートリアル

(担当チューターと臨床・訓練上の悩みを相談する機会がある)

6. セラピスト養成コースでは訓練生に臨床実践の機会の提供

(定期的な心理療法の現場がない方でも安心)

関西までの移動が困難な方にもコースへのオンライン参加(Zoom等)が可能になりました。こちらはパイロットケースで、それぞれの方の置かれた状況に合わせて参加が可能かを相談できます。詳細はお問い合わせください。特に「観察と臨床基礎コース」はすべてのセミナーでオンライン対応が可能となりましたが、講師に指定された数回は対面での参加が可能であることが条件となります。

3. コースの紹介

【A: 観察と臨床基礎コース コース責任者: 松本拓真】

乳児観察を中心に、(子どもの)精神分析臨床に必要な基礎的スキルと知識を学びます。セラピスト養成コースに進みたい人の基礎訓練コースです。

子どもの心理療法実践に携わらなくても、SC、医療機関、福祉施設などでそれぞれの臨床実践のため、精神分析の基礎的スキルや知識を生かしたい人向けのコースです。

最短で2年で修了(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。

	セミナー	乳児観察	ワーク ディスカッション
1 年目	基礎セミナーⅠ(月2回) +文献講読Ⅰ(月1回) +文献講読Ⅲ(月1回)	週1回の乳児観察セミナーを受講し、自身が2年間の乳児観察を行う。	職場などの集団状況の観察を行い、基礎セミナーにてワークディスカッションを行う。
2 年目	基礎セミナーⅡ(月2回) +文献講読Ⅰ(月1回) +文献講読Ⅲ(月1回)		
それ以降	文献講読Ⅰ(月1回) +文献講読Ⅲ(月1回)		

申請資格

1. NPO法人子どもの心理療法支援会の正会員(専門会員もしくはボランティア会員)であること
(2025年12月20日に行われる理事会までに承認された会員)
2. 乳児観察や精神分析の基礎を自分の今後の臨床に生かしたいという熱意があること

※乳児観察セミナー修了生も「観察と臨床基礎コース」のエントリーが可能です。

必要書類の記入要項

① 観察コース生申請書【様式1】

職歴欄が足りない場合は、主なものをご記入ください。現在の職場の所属長もしくはスーパーバイザーなど2名に推薦人として署名をもらってください。

※他地区からの参加の場合、その地区の乳児観察セミナーリーダーを推薦人にしてください。

② 訓練経過報告書【様式2】

これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。

スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」の欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。

「文献講読やセミナー」の欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。

③ 志望動機【様式 3】

なぜコースに入ろうと思ったのか、コースを修了した後、得られたものをどのように活かしていきたいと考えているかなどを自由にお書きください。

修了要件

- ① 2 年間の乳児観察修了とエッセイ(修了レポートとなる)
- ② 文献講読Ⅰ・文献講読Ⅲのエッセイの提出し修了証を得ること(それぞれ 2 年以上)
- ③ 職場での観察とワークディスカッションによるエッセイ

コース料金

コース受講料 年間 10 万円 3 年目以降は年間 5 万円 + 文献講読セミナーの追加 1 講座につき 1 万円
コース内容: 文献講読Ⅰ(会員価格 5 万円)+文献講読Ⅲ(会員価格 5 万円) +基礎セミナー(月 2 回、10 万円相当)+チュートリアル 3 回分(2 万円相当)
※ 乳児観察セミナー料金は、別途かかります(月 2 万円程度)。

コース内容(予定)

関連するプログラム				講師	会場	定員	日時(予定)
基幹 セミナー	乳児観察セミナー			平井正三	御池 オンライン可	5 名	毎週月曜日 19:30～21:00
				鵜飼奈津子	梅田 オンライン可	5 名	毎週土曜日 10:30～12:00
				脇谷順子	東京 オンライン可	5 名	毎週木曜日 19:30～21:00
				☆ 松本拓真	岐阜 オンライン可	5 名	毎週月曜日 19:30～21:00
				☆ 小笠原貴史	東京 オンライン可	6 名	毎週金曜日 20:00～21:30
				☆松本先生と小笠原先生のセミナーはサポチルの管理しているセミナーではありませんが、コースとの連携が可能なセミナーです。:			
	文献講読	文献講読Ⅰ	ビオン	平井正三	御池 オンライン可	15名	第1土曜日 18:00～20:30
			現代クライン	平井正三	御池 オンライン可	15名	第4土曜日 18:45～21:15
		文献講読Ⅲ	「こころの発達心理学」	(前半) 久保信代	(前半) オンライン	12 名	第2土曜日 16:30～18:30
				(後半) 狗巻修司	(後半) オンライン		
		榊原久直	オンライン	12 名	第3土曜日 19:00～21:00		
訓練 コース	観察と臨床基礎コース	基礎セミナーⅠ		森和子	御池 オンライン可	-	第1・3土曜日 17:30～19:30
		基礎セミナーⅡ		吉岡彩子	御池 オンライン可	-	第2・4土曜日 18:45～20:45
		基礎セミナーⅢ		橋本貴裕	オンライン	-	第2水曜日 19:30～21:30

よくある質問

Q1. 観察する赤ちゃん家庭が見つかったからでないとコースエントリーできないのか？

A1. ご参加いただけます。逆に、乳児観察セミナーを受講される前に赤ちゃん家庭を見つけることはお控えください。臨床上でもアセスメントのプロセスが大事なように、赤ちゃんを見つけ、交渉し、乳児観察をするのに適した家庭であることを判断していくプロセスをセミナーの助けを借りて行う必要があります。

Q2. オンラインで受講できるのか？

A2. オンライン受講可能です。乳児観察セミナーは、お住いの地域の状況とサポチルのサポートが提供できるかなどを含めて、個別の判断となります。オンラインご希望の方は、志望動機の欄にオンライン受講を希望する旨をお書きいただきご提出ください。

ご心配な方は、事前にメールにて(事務局: training@sacp.jp まで)ご相談ください。

【B: セラピスト養成コース コース責任者:平井正三】

「観察コース」を修了した人で、「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできる力を培うためのコース(乳児観察修了者は本コースから開始可)です。

本コース生は、訓練生としてサポチルの心理療法提携機関に所属し、アセスメントを含めた子どもの精神分析的心理療法実践の機会を得ます(外部ケースも条件次第で訓練ケースにできます)。所属機関のアセスメントカンファレンス(月1回)に参加し、アセスメントの実際も学ぶコースです。

最短で3年で修了(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。

	コアセミナー	SV	個人分析	自由選択
1年目	GSV (月1回) 基礎セミナー (月1回) +アセスメントセミナー (月1回)	3例の訓練ケースについて、週1回もしくは隔週でSVを受けること (初年度は毎週) SVは2名以上(各1年以上)から受けること	訓練中は週1回以上の個人セラピーもしくは分析を受ける。 サポチル認定の「子どもの精神分析的心理療法SV」を目指す人は週2回以上	・文献講読Ⅰ (4年未修の方は受講) ・文献講読Ⅲ (最低1年。未修者は受講) ・AD文献セミナー (月2回／3年目以降の方対象) ・アセスメントWS (月2回／3年目以降の方対象) 親面接セミナー(月1回) 思春期セミナー(月1回) の2種については、最低1年は受講すること
2年目	GSV (月2回) 文献セミナーⅠ(月1回) クライン派の基礎、 ビオン、ウィニコット、 タスティン、メルツァー			
3年目	GSV(月2回) 文献セミナーⅡ(月1回) 現代クライン派 アルヴァレズなど			
それ以降	GSV (月2回) GSV 以外のコアセミナー 修了者は受講料を減額する			

申請資格

1. NPO 法人子どもの心理療法支援会の専門会員である
2. 自身が2年間乳児観察を行い、資格審査委員が認める乳児観察セミナーを受講済みである
3. 「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできることを希望する
4. 週1回以上の個人セラピーを受けている、もしくは申し込み中である

必要書類の記入要項

①訓練生申請書【様式1】

職歴は欄が足りない場合は、追加して、すべての職歴についてご記入ください。

②訓練経過報告書【様式1】

- ・これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。
- ・「文献講読やセミナー」欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。

③志望動機【様式3】

④乳児観察に関するエッセイ【書式自由】

自身が行った乳児観察について2年の経過をまとめ、考察をつけたエッセイをご提出下さい。
乳児観察の経過がまとめられているなら、学会誌等に掲載された論文でも構いません。

修了要件

①アセスメントケース

子ども担当2ケース以上、親担当1ケース以上の3ケースをそれぞれ1000字程度にて報告する。

②週1回の精神分析的心理療法を3ケース以上

それぞれ週1回(少なくとも1年)もしくは隔週のSVを受け、1年以上継続する。
2名以上から受けること。

③SVを受けたケースの学会発表

精神分析学会の研修症例発表か、それに準ずると認められる審査付きの発表。

④SVを受けたケースの論文発表(*)

精神分析学会の研修症例論文か、それに準ずると認められる査読付き論文。

⑤未発表の訓練ケースは3000字程度のレポート

⑥文献講読Ⅰ(フロイト・クライン・ビオン・現代クライン)4年分と文献講読Ⅲ(少なくとも1年以上)のエッセイの提出し修了証を得ること

(*)修了論文と審査

セラピスト養成コースを修了するには、修了論文を提出し、審査を受ける必要があります。修了論文は、スーパービジョンを受けた訓練ケースのいずれか(精神分析学会の研修症例論文に加筆修正を加えたものであるならば可)について書いたものに限ります。

字数は、15000字以内とします。

コース料金

コース受講料(初年度・年間 25 万円／2 年目以降・年間 20 万円)
コース内容: 基礎セミナー(5 名以下で SV によるセミナー 年 8 万円相当)+チュートリアル 3 回(2 万円相当) +アセスメントセミナー(5 万円相当)+思春期セミナー(5 万円相当)+親面接セミナー(5 万円 相当) +GSV(1 年目月 1 回:6 万円相当、2 年目月 2 回:12 万円相当) 未受講者は、文献講読 I (会員 5 万円)+文献講読Ⅲ(会員 5 万円)を受講することができます。 通常、1 年目 26 万円、2 年目 32 万円相当(文献講読の未受講者はさらにお得)が受講できます。
個人SV・個人セラピーの料金は、コース受講料(担当者ごとに異なる)が別途かかります。 個人SVの優先的なマネジメントとサポチル指定 SVについてはスーパーバイズ料金を大幅な 減額 (毎週 SV を定価の 2000 円引きで最大 40 回まで、年間 8 万円引き) ※所属機関での訓練ケースから報酬を得ることができます。

コース内容(予定)

関連するプログラム				講師	会場	定員	日時
基礎 セミナー	文献 講読	文献 講読 Ⅰ	ビオン	平井正三	御池 オンライン可	15名	第1土曜日 18:00～20:30
			現代クライン	平井正三	御池 オンライン可	15名	第4土曜日 18:45～21:15
		文献 講読 Ⅲ	「こころの発達心理学」	(前半) 久保信代 (後半) 狗巻修司	(前半) オンライン (後半) オンライン	12 名	第2土曜日 16:30～18:30
				榊原久直	オンライン	12 名	第3土曜日 19:00～21:00
訓練 コース	セラピスト 養成 コース	基礎セミナー (子どもの精神分析的心理療法の基礎文献)		未定			
		アセスメントセミナー		鵜飼奈津子	大阪		第2・4土曜日 16:30～18:30 (第5土曜日も開催)
		文献セミナー・アドバンスト		西村理晃	-		未定
		GSV		平井正三	-		未定
		アセスメントワークショップ (開講未定)		-	-	-	-
		親面接ワークショップ		未定			

よくある質問

Q1. 自分が個人セラピーを受けている分析家のセミナーが取得しにくい、どうすればいいか？

A1. セラピスト養成コースにおいては、個人セラピーを受けることが必須となっております（コース修了まで受け続けます）。しかし、現在セラピーを提供できる人が限られており、セミナー講師と重なることがかなりあると思います。その場合は、基本的には個人セラピーを優先します。このために受講できなかったセミナーについて、自身のチューターと相談のうえ、代替となる講義を得られるように工夫を考えていきますが、やむを得ず受講できない場合は年間受講料から1セミナー当たり3万円を減額いたします。

Q2. 遠方でも提携心理療法機関（御池もしくは京橋）に所属しなければならないのか？

アセスメントカンファレンスへの出席は不可欠なのか？

A2. 次年度よりコースのセミナー関係はオンラインでも受講できるように準備を進めております。ただ、遠方の場合でも、どちらかの機関に所属して心理療法訓練を行うことを推奨します。お勤めの機関が精神分析的な心理療法を行うのに適していると判断された場合は、その機関でのケースを訓練ケースとして認めますが、各機関のアセスメントカンファレンスも参加を推奨します。やむをえない事情の場合は、配慮いたします（Zoom参加など）。いずれにせよ、コースに入る際の面接で、その後はチューターとの相談にて、個別な事情についてはご相談ください。

Q3. セラピスト養成コースは、サポチル認定の「子どもの精神分析的な心理療法士」の要件より厳しいのはなぜか？資格取得がゴールではないのか？

A3. セラピスト養成コースの目標は、セラピストとしての独り立ちと指導者となりうるだけの専門性への自信を身に付けることです。そのため、資格要件よりも厳しくなっています。コースの途中で「子どもの精神分析的な心理療法士」の資格を取得する方も出てくると思いますが、それでコースを辞める必要はありません。また、コースの中でサポチルの認定の「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー（コンサルタント セラピスト）」資格が取得しやすくなるようサポートしていきます。

4. 申請書類提出先, 問い合わせ先

2025年12月31日(水) 申請書類締め切り(PDFにてメール提出)

training@sacp.jp : 認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会 訓練コース事務局
604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町 444 初音館 302
Tel&Fax:075-600-3238 HP:<http://sacp.jp/>

* 提出書類については、記載漏れのないように、黒ボールペンやパソコン等によりはっきりと書いて下さい。また、自筆による署名と捺印が必要な箇所がありますのでご注意ください。記入した申込書をスキャンもしくは写真で撮影し、ファイルを添付したメールでご応募ください。持参、郵送でも受付可能です。その際は提出時にその旨をメールしてください。

* 申請書が問題なく受理されたら、コース委員による面接と環境調整の相談が開始します。2026 年2月下旬頃までに受理会議にて可否の決定(セラピスト養成コースは所属先も決定)、2026 年4月から観察コース生、訓練生としての生活が始まります。

* 本コースは、参加者のグループによるメンバーシップを重視しているため、各コースの参加者は多くても6名までとし、3名に満たなかった場合は開講を見合わせます。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。